

復興釜石新聞

親子の絆を守ろう 全国ネットがキャンペーン



大町周辺で展開された親子の絆を守るための「りこちゃんキャンペーン」

親子の面会交流を実現する全国ネット「親子ネット」(東京都渋谷区、鈴木裕子代表)を主催するNPO法人を展開するNPO法人日本リザルト(東京都千代田区、白須紀子代表)は7日、離婚後の親子の絆を守るための「りこちゃんキャンペーン」を全国一斉に展開。釜石市では大町周辺で行われ、親子交流について

新しい法律の制定などを提案するリーフレットを配布し、活動への理解と協力を求めた。両団体によると、3組に1組が離婚し、離れて暮らす親と子が会えなくなるケースが毎年10万組にも上り、離婚で子どもにも会えなくなった親、片方の親と交流を絶たれた子どもへの心理的影響も少ないという。

子どもの連れ去り・引き離しが横行し、面会交流をめぐる紛争も1998年から2008年の10年間で約4倍になるなど深刻さが増す中、離婚後の子どもの共同養育の重要性を訴え、連れ去り・引き離しに歯止めを求め、啓発活動として初めて実施。「子どもの幸せが最優先。親子新法の制定に協力を」などと全

国16カ所で呼びかけた。日本リザルトの白須代表(64)は「離婚の問題に子どもは関係がなく、未来が広がるよう、みんなで見守ってほしい」と、親子ネットの渡辺高之さん(46)は「離れても子どもは両親が好き。くじけず、希望を失わず、一緒に世の中を変えましょう。困ったことがあれば、気軽に、相談してほしい」と話した。